



KBP 関甲新学生野球
2022 新人戦

作新学院大学戦
3-9

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
作新大	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	9	2
常磐大A	1	1	1	0	1	1	1	3	X	9	13	2

写真 1 回裏、先制点を得点する新人戦主将・小関貫太（2年）

3勝1敗
ブロック 1位
同率

三浦
彰浩
現社2年
初勝利
初先発

7回
自責点 1

関甲新学生野球・新人戦最終戦、常磐大学Aは作新学院大学と対戦し、3-9で勝利した。これにより3勝1敗、勝率.750で上武大学Dと並び、ブロック1位となった。大会規定により直接対決の勝者・上武大学Dが決勝トーナメントに進む。

【6/11 作新学院大学野球場】初回、常磐大学Aの先発は三浦彰浩（2年）。先頭打者を四球で出すも次の打者を併殺、遊ゴロで初回を3人で抑える好調な立ち上がり。その裏、先頭の新人戦主将・小関貫太（2年）が中安で出塁すると、2番大隈聖蓮（2年）が四球で無死 1,2 塁、続く所宜和（2年）の適時打で先制し 0-1。2回裏、先頭豊泉翼（2年）が安打で出塁。1死2塁の場面で、鈴木啓太（1年）が三振に倒れるも振り逃げの際に相手の失策によって1点を追加し 0-2。しかし3回表、無死 1,2 塁のピンチから併殺によって2死3塁とするも続く打者に適時打を許し、2-1。

その裏、1死から2番大隈がセンターを超える3塁打を放ち、3番所が犠飛で1点を追加。また、5回裏、2死2塁の場面で2番大隈の適時打で1点を追加し 4-1。しかし6回表、2死から連続安打、失策も絡み2点を失い 3-4。その裏、連続安打で1死 2,3 塁で8番鈴木が遊ゴロの間に1点を追加し、3-5。7回裏、2死満塁の場面で代打菊池望夢（1年）がセンター前の適時打で1点を追加し、3-6。8回裏にも失策と安打で3点を追加し 3-9。

守備先発は三浦が7回まで3点（自責点1）に抑える投球、8回から植村塁（1年）が登板し、4四球を出すも持ち前の力強いストレートを武器に8・9回を無失点に抑え、勝利した。バッテリーは三浦、植村一長瀬洋太（2年）。（文・井川泰徳）

星取表 (2022年6月12日・最終結果)

	常磐大A	上武大D	作新大	茨城大	宇都宮大	試合	勝	負	分	勝率
1	常磐大学A	★	☆	☆	☆	4	3	1		.750
1	上武大学D	☆	☆	★	☆	4	3	1		.750
4	作新学院大学	★	★	★	☆	4	1	3		.250
3	茨城大学	★	☆	☆	★	4	2	2		.500
4	宇都宮大学	★	★	★	☆	4	1	3		.250



応援ありがとうございました。
硬式野球部A 一同